

**初代主将の
小藤さん逝く**

わが部の初代主将小藤清己さんが去る2月、亡くなりました。76歳。小藤さんは剣道部員として活躍されましたが、昭和21年にフエンスン部が創設されると初代主将に就任。関東学連設立メンバーの一人としても貢献し、リーグ戦等に出席、活躍されました。卒業後は剣道教室を主宰するが、都議会議員選挙に打って出るなど政治にも関心を持たれ、いろいろな分野に足跡を残してられました。心からご冥福をお祈りいたします。



創立50周年式典での小藤さん

**都民大会で
エペ優勝!**

去る5月22日(サーブル、フルール)、23日(エペ)にフエンスン部都民大会が開催されました。稲光会会員はサーブル、フルールで港区、大田区、エペは港区でエントリー。初日は両チーム2種目ともベスト8進出、ポイントを獲得。2日目エペは1回戦は港、大田、練馬チームの総当たり2チーム上がり。1勝1敗で決勝トーナメント進出。ここからは、メンバーを一部入れ替えて万全の体制で臨みました。1回戦文京区、2回戦府中市、準々決勝北区を3連勝と破竹の勢いで突破。準決勝は警視庁チーム立川市と対戦、これも3連勝で決勝進出。なんとあまり経験のできない選手紹介でル・サリュウの栄誉まで獲得しました。決勝の相手は1回戦で3敗した大田区。雪辱のチャンスに1、2戦と勝ちこの時点で優勝を掌中にしました。3戦は残念ながら落としたものの堂々の優勝でした。また、3種目の総合でも港区は立川市に次いで2位の好成績でした。



港区監督を務めた中村会員

なお、港区エペ選手は市川、田中(秀)、松田、出水の若手会員、サーブル、フルールは、吉田、大川、平野、寺田、出水、新村の会員が奮闘しました。

**合宿は再び
野沢温泉で**

今年の夏合宿は昨年と同じ宿舎、野沢温泉げんたろう屋です。フエンスン部の練習のため日除け用のぶ厚いカーテンを取り付けたから、今年もぜひ「……」という宿舎からの要望に応えたものです。

◆日時 平成11年8月30日(月)〜9月8日(水)
◆場所 長野県下高井郡野沢温泉村9539「げんたろう屋」TEL 〇二六九(八五)二二五六
◆問い合わせ 部室 TEL 三二〇三二八六〇五
マネジャー 飛鷹恵美

稲光会報

平成11年7月1日発行
編集者 早稲田大学稲光会
発行者 北原輝久
発行所 稲光会社
印刷 有限会社バイン
第22巻 第28号

1ページ……リーグ戦報告他
2-3ページ……リーグ戦成績
4ページ……女子サーブル発掘
5ページ……新人紹介他

リーグ戦、男女揃って1部で健闘! 10年ぶりに入替戦なし



勝利に湧くベンチ

平成11年度関東学生リーグ戦は4月11日(日)から5月14日(金)まで、東京・駒沢体育館などで行われました。男子はフルール4位、エペ5位、女子はフルール3位、エペ5位とそろって1部リーグの座を確保、久々に入替戦のないシーズンとなりました。

「男子」フルールは本間、河津、高原、の4年生トリオ。3年前の新人戦で2部ながら拓大、中大を破り決勝に進出、中大に惜敗して2位に甘んじたものの、その時「ボク達の實力は1部のトップクラス。将来は必ず優勝争いをする(本間)と誓ったものでした。その念願が叶ったの1部リーグ2年目。確かに3人の持つスピード、テクニックは1部リーグで充分に通用するものでした。

2面へ続く

新人紹介

今年度も有望な新人部員が入部しました。顔を合わせたら、ぜひ声をかけてやってください。
①生年月日 ②出身校 ③競技歴 ④抱負

馬淵友子 (教育学部)
①昭和55年4月16日
②大分県立大分豊府高等学校
③インターハイ・フルール、エペ個人5位
④チームに貢献できるよう頑張ります。

福山晴佳 (法学部)
①昭和55年5月11日
②栃木県立宇都宮中央女子高等学校
③インターハイ・フルール団体ベスト8
④先輩方を目標に頑張りたいと思います。

藤原仁美 (教育学部)
①昭和55年6月19日
②埼玉栄高等学校
③インターハイ・フルール個人2位
④常に上を目指して、全力でがんばっていきたくと思っています。

杉上健太 (教育学部)
①昭和56年1月28日
②香川県立高松北高等学校
③インターハイ・フルール個人2位
④1日でも早く先輩方に追いつけるよう努力していきたいと思っています。

野口拓巳 (商学部)
①昭和55年5月8日
②早稲田大学本庄高等学校
③関東大会フルール団体3位
④1年後には、戦力になれるように練習にはげんで頑張ります。

新・会員制度導入!
会費納入へご理解を!
一律1万2000円

稲光会会員は平成11年5月で二一三名となりました。創立五十年を経過して、増々充実してきております。しかしながら、残念なことには、会員が増えるに比べて、財務的には年々苦しくなっております。この会報や種々の連絡など、人数が増えることで、手間や郵送費はつるるばかり。これもなんとか在京のOBで手分けして行っておりますが限界もあります。せめて、会員数が増える分、会費が増えれば運営もやりやすくなるのですが、現実にはそうではありません。

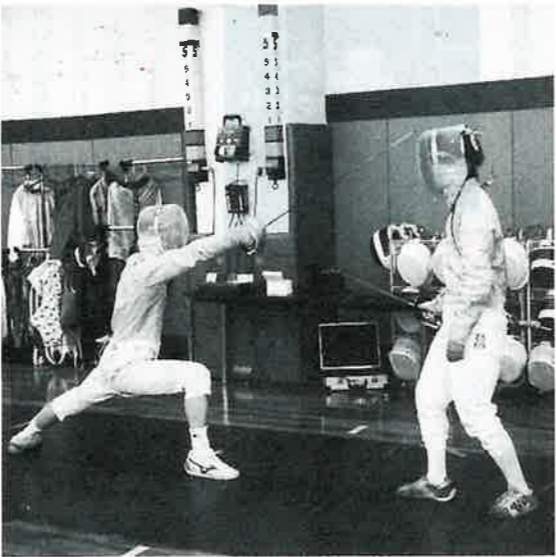
納入においては、特に若手会員の未納が目立っております。この現状をどうかご理解いただき、部の発展と維持のためにも積極的な会費納入を切にお願いいたします。
(会計・吉田)



開幕戦の中大戦、日体大戦に連勝したことがなによりもそれを物語っています。3年前の夢の実現も可能かという上々の滑り出し。しかし、それがかえって気負いにつながってしまったようです。優勝の本母校法大に20-45で敗れると、3人とも歯車が狂ってしまった。Aクラス入りを賭けた拓大との最終戦。絶えずリードし続け、40-38で迎えた最後の試合もエース本間が強気に勝負に出て失敗。心・技・体そろっての勝負がいかにも至難であるかを痛感させられました。

エペは東農大に1勝しただけ。同じく1勝の東農大とはわずかな突数の差で最下位を免れました。勝てるメンバーを揃えて臨んだ昨年は最下位。それに比べれば救いといえますが、それにしても1部リーグで勝つ事とはかく難しい、というのが実感です。サーブルは2年生チームで試運転中。2年後にご期待下さい。

「女子」
劣勢が予想されていただけに、女子は健闘だけ



女子サーブル登場!

最後に残された種目女子サーブルが今年度のリーグ戦から実施されました。これはFIE（国際フェンシング連盟）が99年から女子サーブルを正式種目とした事に対する対応です。今リーグ戦では個人戦のみとし、各大学の上位3人のポイント（成績）の合計で順位づけをし、来年度から他種目同様の団体戦を行います。わが部からは8人の女子が出場しましたが、残念ながら総合順位は7位。従って来年は2部でスタートという結果になりました。

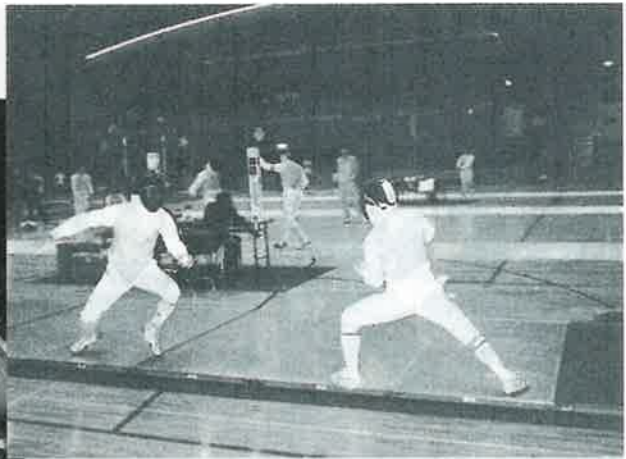
たといつてよいでしょう。

ポイントゲッターの内田、女子部主将水上の2人は、リーグ戦経験者として計算できる戦力でした。しかし3番手が未知数。3年・八巻と新人・藤原、馬淵の3人を交互に起用する苦しい台所でした。

諸戦は八巻が手堅い試合ぶりであり、藤原が活躍するなど勝利に貢献。しかし2戦目は、やや足を引っ張ってしまいました。3戦目に出場した藤原ですが、実力を発揮できず終り。リザーブ出場の馬淵が予想外の善戦をしたため、以後4、5戦に3番手として定着するといった具合。それでも3勝1敗で最後の専大戦を迎え、1ポイントを保ってアンカー水上にバトンタッチするという展開。最後まで優勝争いに踏みとどまった試合ぶりは高く評価してよいでしょう。

エペはエースの飛鷹（3年）、新鋭神野（2年）それに水上に代わって出場の4年・原田と一心専門選手を揃えて臨んだのですが、総合力でもう一つ迫力不足。2勝のみの5位に終わってしまいました。（監督・川名宏美）

男子サーブルで円陣を組むメンバー



男子フルーレの高原（左）



男子サーブルで円陣を組むメンバー



女子フルーレは3位と健闘!



女子エペは5位で終了

「リーグ戦全成績」

「男子」 ▽フルーレ

- 早大 45-41 中大
- 早大 45-42 日体大
- 早大 20-45 法大
- 早大 37-45 専大
- 早大 42-45 拓大
- （順位）①法大 5勝②専大 3勝③中大 2勝④早大 2勝⑤日体大 1勝⑥日体大 1勝⑦早大 0勝
- ※日体大は日大との入替戦に敗れ2部転落

▽エペ

- 早大 45-38 東農大
- 早大 37-45 中大
- 早大 38-45 法大
- 早大 41-45 専大
- 早大 43-45 拓大
- （順位）①専大 5勝②中大 3勝③法大 3勝④拓大 2勝⑤早大 1勝⑥東農大 1勝⑦早大 0勝
- ※東農大は入替戦に勝ち1部確保

▽サーブル（2部）

- 早大（棄権）上智大
- 早大 31-45 立大
- 早大 45-23 東大
- 早大 45-40 慶大
- 早大 30-45 拓大

- （順位）①拓大 5勝②立大 4勝③早大 3勝④東大 2勝⑤上智大（棄権）勝⑥上智大（棄権）勝⑦早大 0勝
- ※拓大は東農大に敗れ1部復帰ならず

「女子」 ▽フルーレ

- 早大 45-43 日体大
- 早大 45-44 日大
- 早大 29-45 日体大
- 早大 45-35 東農大
- 早大 43-45 専大
- （順位）①専大 4勝②日体大 3勝③早大 2勝④東農大 2勝⑤日体大 2勝⑥日大 1勝⑦早大 0勝
- ※日大は法大に敗れ2部転落

▽エペ

- 早大 35-45 東農大
- 早大 45-39 専大
- 早大 33-45 日体大
- 早大 31-30 日体大
- 早大 39-45 日大
- （順位）①東農大 4勝②日大 4勝③専大 3勝④日体大 2勝⑤早大 2勝⑥日体大 1勝⑦早大 0勝
- ※日体大は法大に敗れ2部転落

岡田会員苦戦中 みなさん応援を!

シドニー・オリンピック出場権獲得のため、ヨーロッパ遠征中の岡田千恵子会員ですが、世界の壁の厚さに悲観苦闘中です。第1戦ルクセンブルグ大会（4月）は31位、次のイギリス（4月）は42位と好調なスタートを切ったのですが、5月に入ってから3大会は全て64人の決勝トーナメントに残りませんでした。順位的には60位前後か70位前半ぐらい。目標とする40位以内からはやや遠のいてしまいましたが、これからの巻き返しに期待しましょう。

「注」◆オリリンピック出場権 シドニー五輪への出場方法が大幅に改正されました。端的にいえば世界ランキング最優先システムとなったわけですから。



健闘中の岡田会員

つまり来年4月末日現在で世界ランキング16位までの選手に個人戦の出場権が与えられます。団体戦は11月の世界選手権（ソウル市）で各種目とも8位までの国が出場権を得ます。団体戦メンバー（1チーム3人）は個人戦に出場できるため、ここで24人の個人戦出場者が決まります。この24人を除き、新たに繰り上げで決まった上位16人が個人戦に出場できるわけで、合計40人。つまり来年4月末日現在で世界ランキング40位以内に入っていればシドニー五輪に出場できる事になります。

FIEでは今年から来年にかけて各種目毎に20大会をポイント獲得大会に指定。選手はそれぞれの大大会に出場してポイントを争っているわけです。日本の場合、ナショナルチームの各選手は白費参加で出場しています。岡田会員には後半戦で頑張ってもらうためにも、会員各位のカンパを更にお願致します。